

# 若手・女性技術者表彰制度を検討

## 建コン九州と北九州市意見交換会

### WEBは対応可能 納期平準化へ早期発注

（一社）建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は18日、北九州市との意見交換会を開催した＝写真＝。市は、建コン協が求めた表彰制度の拡大措置について、これまでの企業表彰に加え、若手技術者と女性技術者を対象とする制度を検討していると、早ければ令和4年度の導入を想定していることなどを説明した。業務分野の女性技術者を対象とする表彰制度が創設されれば、九州・沖縄地区の発注機関では初めてになるとみられる。



同局の関係課長らが対応した。

一方、納期の平準化に関しては、「令和6年度までに第4四半期で40%以下」とする目標の下、早期発注に努めるとともに、これまで2月市議会で行われていた繰り越し手続きを、説明可能な案件は12月や9月の市議会

において、前倒して実施していく考えを示した。北九州市小倉北区の本庁舎で開かれた今年度の意見交換会は、建コン協九州支部から田中支部長や渡邊俊光副支部長のほか、支部理事や地元会員らが出席。市側は技術監理局の青木幸浩局長や持山泰生技術部長のほか、

同局の関係課長らが対応した。意見交換のテーマは、各員共通の担い手確保等の環境整備や技術力による選定等の項目のほか、北九州市への個別提案である①円滑な業務推進を行うためのWEB会議導入②若手技術者・女性技術者の成績優秀表彰導入③ウィークリースタンスの実践とさらなる働き方改革の推進について。

「WEB会議」に関しては、新型コロナウイルス対策を合し、生産性向上や業務の効率化等の観点から、その継続と拡大を要望。若手・女性技術者の項目では、モチベーションの向上や担い手確保の観点から、両技術者分野の表彰制度を導入す

ることを要望。市は、既に環境は整っており、業者側からの要望があれば、WEBでの打ち合わせは可能であること等を説明。さらには今年1月から、設計業務でオンライン検査を試行中であることを紹介。今年度は10月までに対象業務の8割で、オンラインによる検査を実施していることも報告した。青木局長も冒頭のあいさつで、同市がデジタル市役所を目指しており、技術監理局も発注、契約、検査等の業務のデジタル化を推進していること。引き続き、業界団体等と意見交換を行い、身近なところから生産性の向上や業務の効率化に努めていくこと等を説明した。

「若手・女性技術者」の項目では、モチベーションの向上や担い手確保の観点から、両技術者分野の表彰制度を導入すること等を要望。市は、現行の企業表彰に加え、若手・女性技術者に対する表彰制度を検討していること等を説明した。「ウィークリースタンス」については、さらなる働き方改革の推進に向けて、受発注者間相互の履行確認や改善内容の共有化、取り組みの強化・推進などを提案。市は、これまでも一部案件でウィークリースタンスに係る取り組みを実施してきたが、業務完了後のヒアリング調査等で、複数の項目で高い実施率を示したことから、今年度より完全実施に移行したことを説明した。